



2015年3月期 第3四半期決算概要

2015年1月30日
株式会社プロトコーポレーション（4298）

連結主要データ

発行済株式総数(百万株)		20.9
時価総額(億円)	※2014年12月末	363.3
1株当たり年間配当(円)	※2015年3月期予想	38.0
1株当たり当期純利益(円)	※2015年3月期予想	168.64
1株当たり純資産(円)	※2014年3月期実績	1,280.38
ROE(%)当期純利益ベース	※2014年3月期実績	10.5
ROA(%)経常利益ベース	※2014年3月期実績	12.7
自己資本比率(%)	※2014年3月期実績	59.6
潜在株式数		-
外国法人等の株式保有比率(%)	※2014年12月末	26.1

大株主(上位10名)

	(千株)
1) 株式会社夢現	6,807 (32.50%)
2) JPMCC Client Safekeeping Account	1,186 (5.66%)
3) 横山博一	840 (4.01%)
4) 株式会社プロトコーポレーション	617 (2.94%)
5) JP Morgan Chase Bank 385632	568 (2.71%)
6) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	504 (2.40%)
7) BBH for Fidelity Low-Priced Stock Fund(Principal All Sector Subportfolio)	493 (2.35%)
8) 横山順弘	400 (1.91%)
9) Clearstream Banking SA	384 (1.83%)
10) 齊藤実	340 (1.62%)

(2014年12月31日現在)

連結損益計算書 (1)



連結損益の状況

(単位:百万円)

	2013年4-12月期		2014年4-12月期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
売上高	41,520	100.0%	37,847	100.0%	① 36,541	100.0%	△ 4,979	88.0%	△ 1,305	96.6%
売上原価	25,644	61.8%	22,039	58.2%	21,236	58.1%	△ 4,407	82.8%	△ 802	96.4%
売上総利益	15,875	38.2%	15,807	41.8%	15,304	41.9%	△ 571	96.4%	△ 503	96.8%
販売費及び一般管理費	12,254	29.5%	11,881	31.4%	11,523	31.5%	△ 730	94.0%	△ 357	97.0%
EBITDA	4,886	11.8%	5,273	13.9%	5,114	14.0%	228	104.7%	△ 158	97.0%
営業利益	3,621	8.7%	3,926	10.4%	3,780	10.3%	158	104.4%	△ 146	96.3%
経常利益	3,878	9.3%	4,041	10.7%	4,054	11.1%	175	104.5%	12	100.3%
四半期純利益	2,025	4.9%	2,557	6.8%	2,543	7.0%	517	125.6%	△ 14	99.4%

* EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

* 2014年4-12月期の計画値は、2014年10月31日公表の数値であります。

販売費及び一般管理費の状況

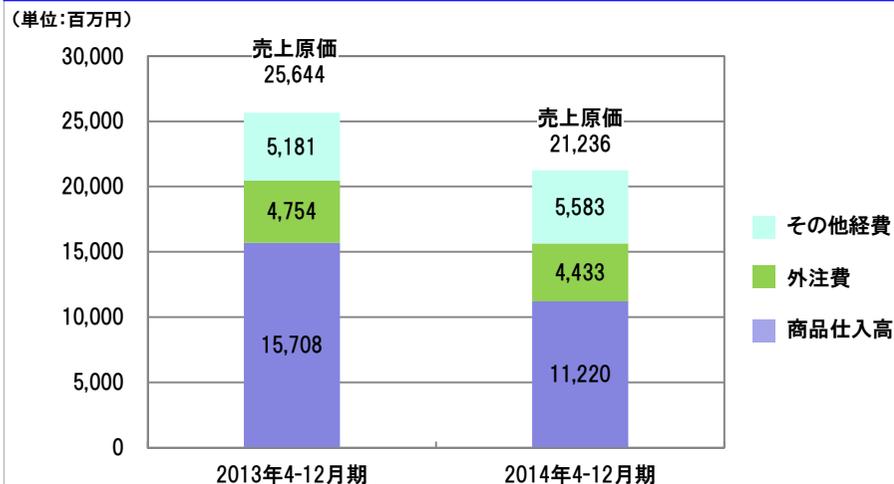
(単位:百万円)

	2013年4-12月期		2014年4-12月期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
販売費及び一般管理費	12,254	29.5%	11,881	31.4%	11,523	31.5%	△ 730	94.0%	△ 357	97.0%
人件費	5,312	12.8%	5,422	14.3%	5,304	14.5%	△ 8	99.8%	△ 118	97.8%
広告宣伝費関連	2,209	5.3%	2,048	5.4%	1,921	5.3%	△ 287	87.0%	△ 126	93.8%
その他経費	4,732	11.4%	4,409	11.7%	4,297	11.8%	△ 434	90.8%	△ 112	97.5%
社員数	1,322	-	1,455	-	1,361	-	39	103.0%	△ 94	93.5%

Point ① 売上高 主に自動車関連情報において、㈱キングスオートの高額車両の輸出台数が減少したことから、同社の売上高は3,013百万円の減収となりました。また、消費税増税の反動減の影響により、輸入タイヤ販売を手掛ける㈱オートウェイにおいてタイヤ販売数量が減少したことに加え、㈱バイクプロスにおけるバイクパーツのEC販売が前年実績を下回ったことなどから、前年同期対比はグループ全体で4,979百万円の減収(前年同期対比88.0%)となりました。また、計画対比におきましても、主に㈱キングスオートの輸出台数が計画を下回ったことなどから、グループ全体で96.6%となりました。

2014年4-12月期 業績概況

売上原価の推移



売上原価

商品仕入高については、主に㈱キングスオート(2,862百万円減)及び㈱オートウェイ(1,111百万円減)における商品仕入高が減少した結果、グループ全体で4,487百万円の減少(前年同期対比71.4%)となりました。

外注費については、主に㈱プロトコーポレーションにおけるインターネット広告代理事業(2014年3月末事業撤退)の外注費が減少したことに伴い、グループ全体で321百万円の減少(同93.2%)となりました。

その他経費については、主に㈱プロトメディカルケア、㈱プロトリオスにおける事業拡大に伴う社員数の増加により、グループ全体で401百万円の増加(同107.7%)となりました。

この結果、売上原価については前年同期対比82.8%(原価率:3.7ポイント低下)となりました。

また、計画対比では、主に㈱キングスオートの輸出台数が計画を下回ったことなどから、グループ全体で96.4%となりました。

販売費及び一般管理費

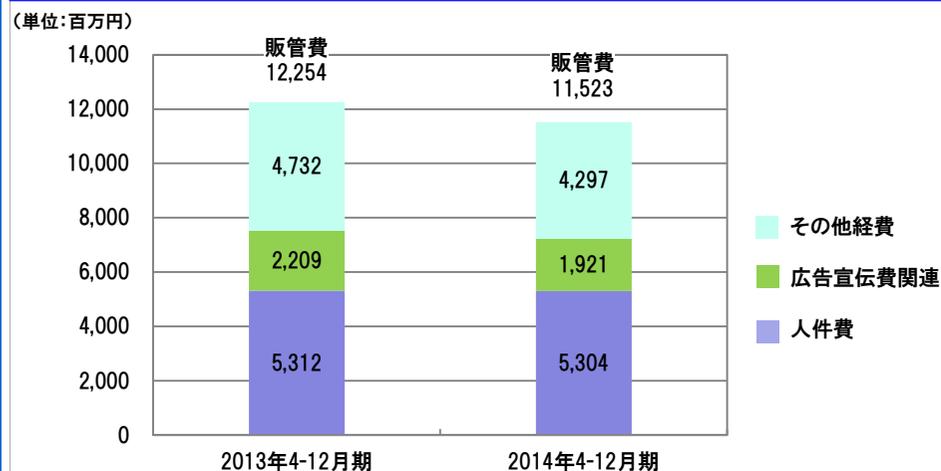
人件費については、主に㈱プロトコーポレーションにおいて不採算事業からの撤退による社員数の減少などに伴い、グループ全体で8百万円の減少(前年同期対比99.8%)となりました。

広告宣伝費関連については、主に㈱オートウェイにおいてWEBプロモーションの効率化を図ったことなどから、グループ全体で287百万円の減少(同87.0%)となりました。

その他経費については、主に㈱オートウェイにおいて、売上高の減少に伴い、業務委託費、支払手数料等が減少したことなどから、グループ全体で434百万円の減少(同90.8%)となりました。

この結果、販売費及び一般管理費については、前年同期対比94.0%(販売管理费率:2.0ポイント上昇)となりました。また、計画対比では、㈱プロトコーポレーションにおける人件費・広告宣伝費・その他経費が計画を下回ったことから、グループ全体で97.0%となりました。

販売費及び一般管理費の推移



セグメント別事業概況 (1)



売上高

(単位:百万円)

	2013年4-12月期		2014年4-12月期			
	実績 (A)	構成比	計画 (B)	構成比	実績 (C)	構成比
自動車関連情報	38,022	91.6%	34,434	91.0%	33,200	90.9%
情報登録・掲載料	15,492	37.3%	15,813	41.8%	15,612	42.7%
情報提供料	22,529	54.3%	18,620	49.2%	17,588	48.1%
生活関連情報	2,667	6.4%	2,604	6.9%	2,518	6.9%
不動産	128	0.3%	126	0.3%	124	0.3%
その他	701	1.7%	682	1.8%	698	1.9%
合計	41,520	100.0%	37,847	100.0%	36,541	100.0%

前期対比		計画対比	
(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
△ 4,822	87.3%	△ 1,233	96.4%
119	100.8%	△ 200	98.7%
△ 4,941	78.1%	△ 1,032	94.5%
△ 149	94.4%	△ 86	96.7%
△ 4	96.7%	△ 2	98.0%
△ 3	99.6%	16	102.5%
△ 4,979	88.0%	△ 1,305	96.6%

- 1) 情報登録・掲載料 情報誌・ネットメディアへの広告掲載等
- 2) 情報提供料 情報誌販売、コンテンツ提供、中古車輸出支援サービス、EC(輸入タイヤ・バイクパーツ販売)等
- 3) 2014年4-12月期の計画値は、2014年10月31日公表の数値であります。

営業利益

(単位:百万円)

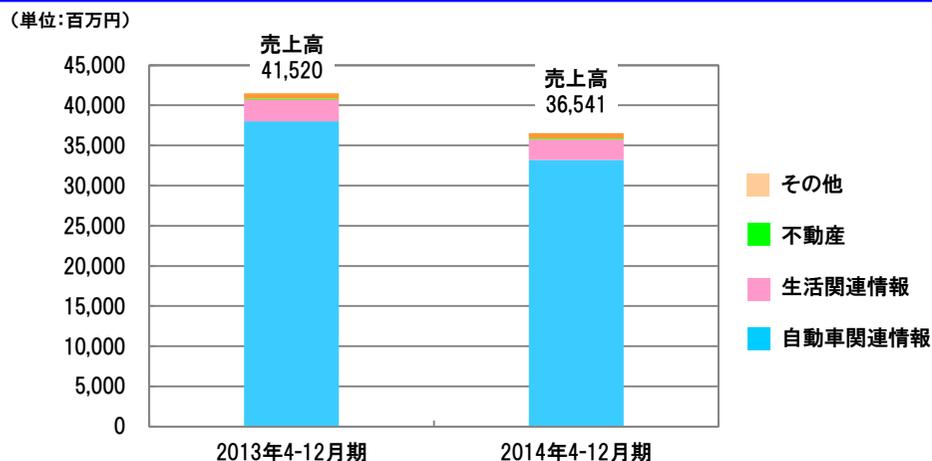
	2013年4-12月期		2014年4-12月期			
	実績 (A)	利益率	計画 (B)	利益率	実績 (C)	利益率
自動車関連情報	4,785	12.6%	4,937	14.3%	4,771	14.4%
生活関連情報	172	6.5%	289	11.1%	258	10.3%
不動産	67	52.8%	72	57.5%	74	60.1%
その他	△ 143	-	△ 72	-	△ 80	-
管理部門	△ 1,260	-	△ 1,299	-	△ 1,242	-
合計	3,621	8.7%	3,926	10.4%	3,780	10.3%

前期対比		計画対比	
(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
△ 13	99.7%	△ 165	96.6%
85	149.8%	△ 30	89.4%
6	110.1%	1	102.3%
62	-	△ 8	-
17	-	56	-
158	104.4%	△ 146	96.3%

セグメント別事業概況 (2)



セグメント別 売上高の推移



自動車関連情報

当社の主要顧客である中古車販売店の経営環境については、消費税増税の反動減の影響により、厳しい状況で推移しました。情報登録・掲載料については、「MOTOR GATE」の拡販を推進したことなどにより、119百万円の増収(前年同期対比100.8%)となりました。

また、情報提供料については、(株)キングスオートにおいて高額車両の中古車輸出台数が減少し、3,013百万円の減収(同55.9%)となったことに加え、消費税増税の反動減の影響により、(株)オートウェイのEC売上(輸入タイヤ販売)が1,542百万円の減収(同83.5%)となったことなどから、情報提供料の売上高は4,941百万円の減収(同78.1%)となりました。

営業利益については、主に(株)プロトコーポレーションにおいて、新規事業である「GooPLUS」「GooPit」への先行投資が発生したことから、13百万円の減益(同99.7%)となりました。

生活関連情報

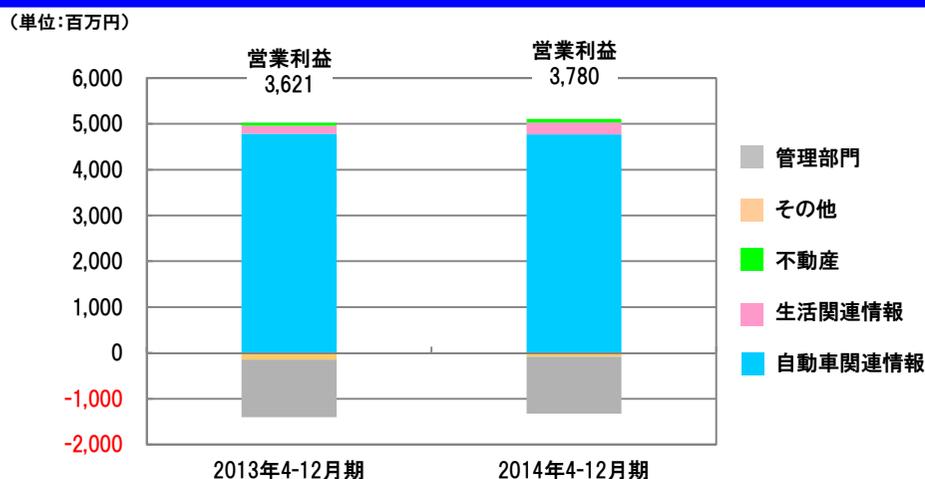
(株)プロトメディカルケアについては、医療・介護・福祉分野における広告事業ならびに福祉用具のレンタルサービス事業等が堅調に推移し、増収増益となりました。しかしながら、(株)プロトコーポレーションにおいて、2014年3月に撤退したインターネット広告代理事業の影響により、524百万円の減収となったことなどから、生活関連情報全体の売上高は149百万円の減収(前年同期対比94.4%)となりました。

一方、営業利益については、(株)プロトメディカルケアが堅調に推移したことに加え、不採算事業からの撤退により、85百万円の増益(同149.8%)となりました。

その他

システム開発を手掛ける(株)アイソリューションズを子会社化(2014年10月1日付)したものの、主に(株)プロトコーポレーションにおいて、2013年12月に撤退したソーシャルゲーム事業の影響により、売上高は3百万円の減収(前年同期対比99.6%)となりました。また、営業利益については、BPO事業において損失が発生しているものの、ソーシャルゲーム事業からの撤退などにより、80百万円の損失(前年同期は143百万円の損失)となりました。

セグメント別 営業利益の推移

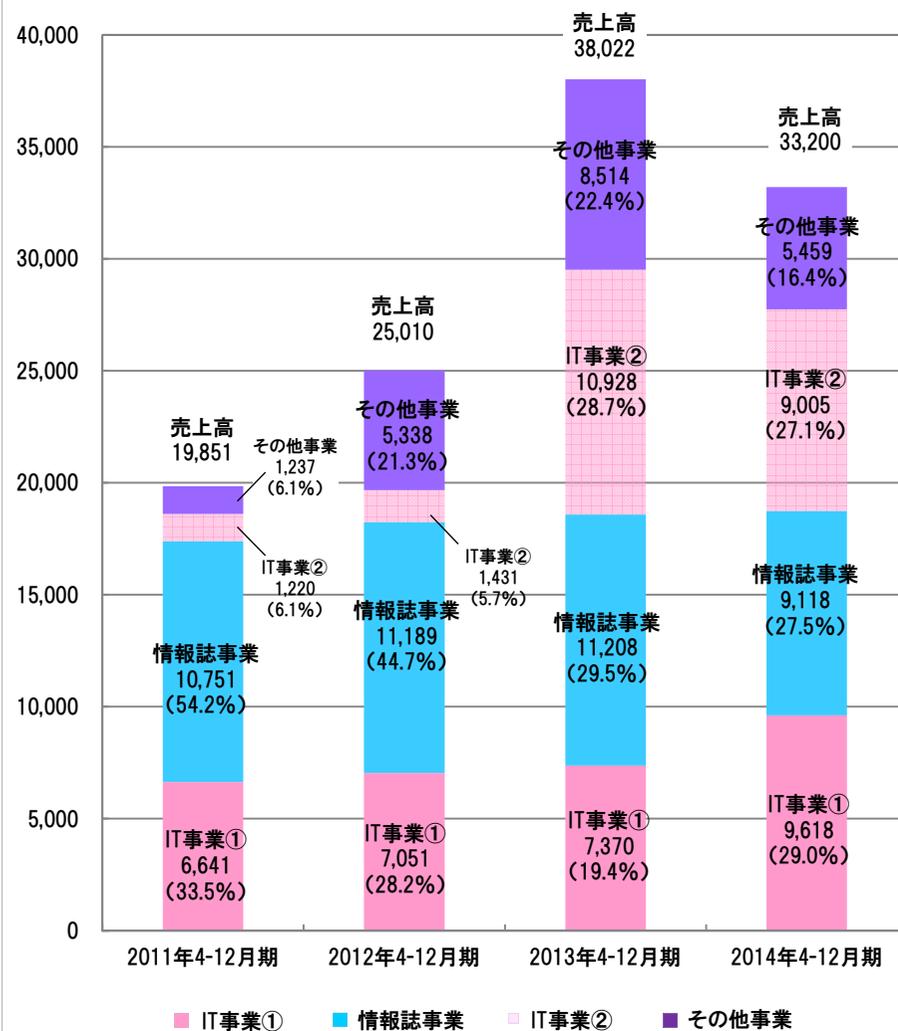


自動車関連情報の事業概況 (1)



自動車関連情報：商品区分別売上高の推移

(単位：百万円) ※カッコ内は構成比



情報誌事業

主に当期より一部のエリアにおいて、Gooシリーズの料金体系を変更(情報誌事業からIT事業①へのシフト)したことなどから、情報誌事業全体の売上高は2,090百万円の減収(前年同期対比81.4%)となりました。

IT事業① (MOTOR GATE利用料、BtoBデータサービス等)

前述のとおり、Gooシリーズの料金体系を変更したことに加え、「MOTOR GATE」の拡販による取引社数の増加、㈱プロトリオスにおける業務支援システムの拡販などにより、IT事業①の売上高は2,247百万円の増収(前年同期対比130.5%)となりました。

IT事業② (EC)

主に輸入タイヤ販売を手掛ける㈱オートウェイにおいて、消費税増税の反動減の影響により、法人向けのタイヤ販売数量が前年実績を下回ったことなどから、IT事業②の売上高は1,923百万円の減収(前年同期対比82.4%)となりました。

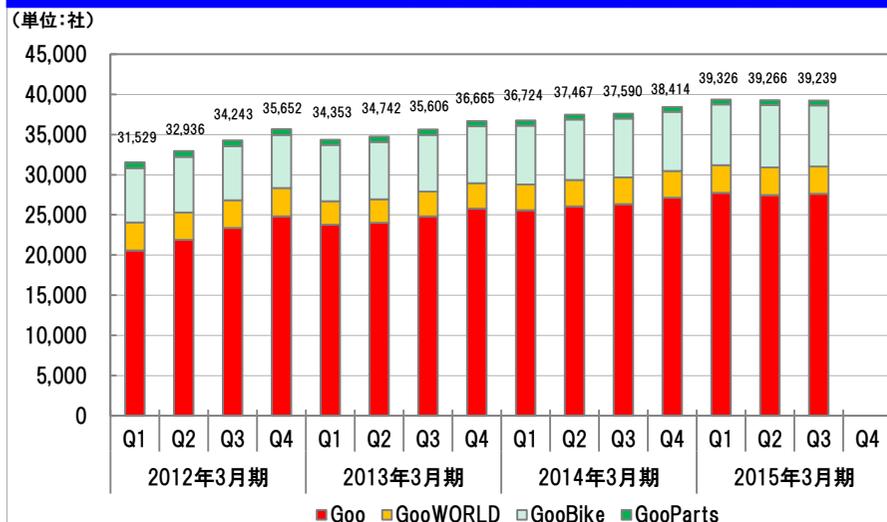
その他事業 (Goo鑑定・中古車輸出支援サービス等)

主に㈱キングスオートの中古車輸出事業において、高額車両の輸出台数が減少したことに加え、㈱プロトコーポレーションにおいて、Goo買取事業から撤退したことなどから、その他事業の売上高は3,055百万円の減収(前年同期対比64.1%)となりました。

自動車関連情報の事業概況 (2)



Gooシリーズ 四半期累計取引社数の推移



Gooシリーズ四半期累計取引社数の推移

Gooシリーズ全体の当期累計取引社数(4-12月累計)は前年同期対比105.4%と増加いたしました。

また、当期累計期間(4-12月)における1ヶ月あたりの平均取引単価については、小規模販売店の増加等が影響した結果、前年同期対比97.0%となりました。

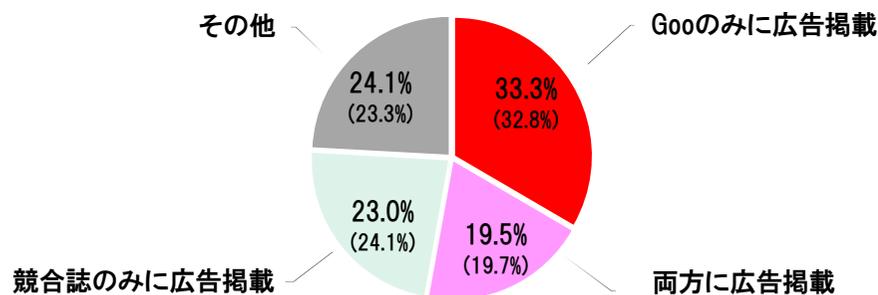
マーケットシェアの状況(競合比較)

マーケットシェアにおいては、前年同月に比べ、Gooのみに掲載いただく会社が0.5ポイント増加、両方に掲載いただく会社が0.2ポイント減少し、全体で0.3ポイント増加しました。また、競合誌のみに広告掲載している会社については1.1ポイント減少しました。

Goo鑑定の状況

消費税増税の反動減による影響があったことなどから、Goo鑑定車の当期累計鑑定台数(4-12月累計)は224,265台となり、前年同期対比98.3%となりました。なお、2013年9月については、一部エリアにおいて無料鑑定キャンペーンを実施しております。

マーケットシェアの状況(競合比較)



* 競合誌：カーセンサー（但し、四国はMjマガジン、沖縄はクロスロード）

* 数値は全エリアを対象として集計しております。

* 取引社数の集計基準：情報誌に広告を掲載した中古車販売店数

* ()内の数値については、2013年12月時点のシェアとなります。

(2014年12月時点・当社調べ)

GooPLUSの状況

GooPLUSについては、2014年3月のテストマーケティング、2014年5月の東海エリアでのサービス展開を経て、2014年8月より全国展開を開始いたしました。

GooPitの状況

GooPitについては、2013年12月より東海エリアにてサービスを開始していましたが、2014年7月より首都圏・関西エリアにおける営業活動を開始しております。(2015年1月30日にGooPit全国版をサービスイン)

連結貸借対照表



(単位:百万円)

	2014年3月期 (期末)		2015年3月期 (第3四半期末)		増減 (B) - (A)	
	(A)	構成比	(B)	構成比		
流動資産	22,815	52.0%	22,636	52.5%	①	△ 179
固定資産	21,091	48.0%	20,441	47.5%	②	△ 650
流動負債	13,174	30.0%	11,738	27.2%	③	△ 1,436
固定負債	4,554	10.4%	3,637	8.4%	④	△ 917
純資産	26,177	59.6%	27,701	64.3%		1,524
総資産	43,907	-	43,077	-		△ 829

Point ① 流動資産の減少 (2014年3月期 期末対比 179百万円減)

主に借入金の返済を始め、配当金等の支払いが発生したものの、当該支出を上回る営業キャッシュ・フローを獲得したことで、現金及び預金が増加しました。一方、㈱オートウェイの商品在庫の適正化によって、たな卸資産が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して179百万円減少しております。

Point ② 固定資産の減少 (2014年3月期 期末対比 650百万円減)

主に減価償却費及びのれん償却額の計上などにより、前連結会計年度末と比較して650百万円減少しております。

Point ③ 流動負債の減少 (2014年3月期 期末対比 1,436百万円減)

主に法人税等の納付による未払法人税等の減少と、㈱プロトコーポレーション及び㈱キングスオートの短期借入金等の返済などにより、前連結会計年度末と比較して1,436百万円減少しております。

Point ④ 固定負債の減少 (2014年3月期 期末対比 917百万円減)

㈱オートウェイ及び㈱キングスオートの長期借入金の返済などにより、前連結会計年度末と比較して917百万円減少しております。

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	2013年4-12月期	2014年4-12月期	増減	(参考) 2014年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,519	① 4,667	2,147	4,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,281	② △ 636	4,644	△ 5,294
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,370	③ △ 3,178	△ 1,807	△ 2,720
現金及び現金同等物の期末残高	10,670	12,004	1,334	11,097
投資額(有形・無形固定資産*)	5,497	698	△ 4,799	5,715
減価償却費(有形・無形固定資産)	596	645	48	819
のれん償却額	668	689	20	928

* 投資額には、有形・無形固定資産取得額、及びのれんを含みます。

Point ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益が4,275百万円、減価償却費・のれん償却額などの支出を伴わない費用が1,334百万円、(株)オートウェイ及び(株)キングスオートの在庫適正化に伴うたな卸資産の減少586百万円、売上債権の減少465百万円が発生した一方、法人税等の支払による支出が2,673百万円発生したことなどから、4,667百万円の収入となりました。

Point ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に子会社株式(株式会社アイソリューションズ)の取得による支出が90百万円、固定資産の取得による支出が568百万円発生したことなどから、636百万円の支出となりました。

Point ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期・長期借入金の減少が2,198百万円、当社において配当金の支払が781百万円、自己株式取得による支出が198百万円発生したことにより、3,178百万円の支出となりました。

参考:EBITDA・調整後当期純利益推移



(単位:百万円)

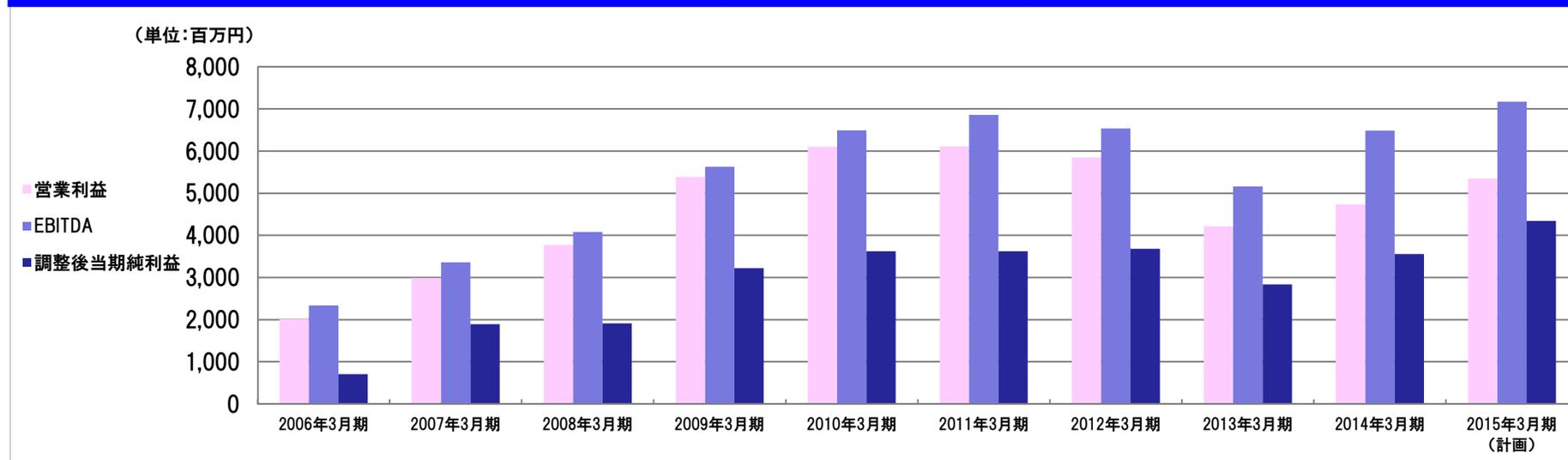
	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期 (計画)*3
売上高	19,952	21,238	22,893	23,657	25,682	28,779	30,582	38,287	54,761	52,600
営業利益	2,010	2,988	3,771	5,384	6,098	6,111	5,846	4,209	4,735	5,350
当期純利益	598	1,766	1,838	3,187	3,529	3,197	3,275	2,290	2,627	3,440
EBITDA*1	2,337	3,360	4,078	5,628	6,490	6,856	6,540	5,161	6,483	7,171
調整後当期純利益*2	707	1,890	1,915	3,223	3,621	3,620	3,680	2,836	3,555	4,345
減価償却費	217	247	230	207	299	322	288	404	819	916
のれん償却額	109	124	77	36	91	422	405	546	928	905

*1 EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

*2 調整後当期純利益は、「当期純利益+のれん償却額」にて算出しております。

*3 2015年3月期の業績予想は、2014年10月31日公表の数値であります。

営業利益・EBITDA・調整後当期純利益の年次推移



参考:2015年3月期 四半期連結業績推移



(単位:百万円)

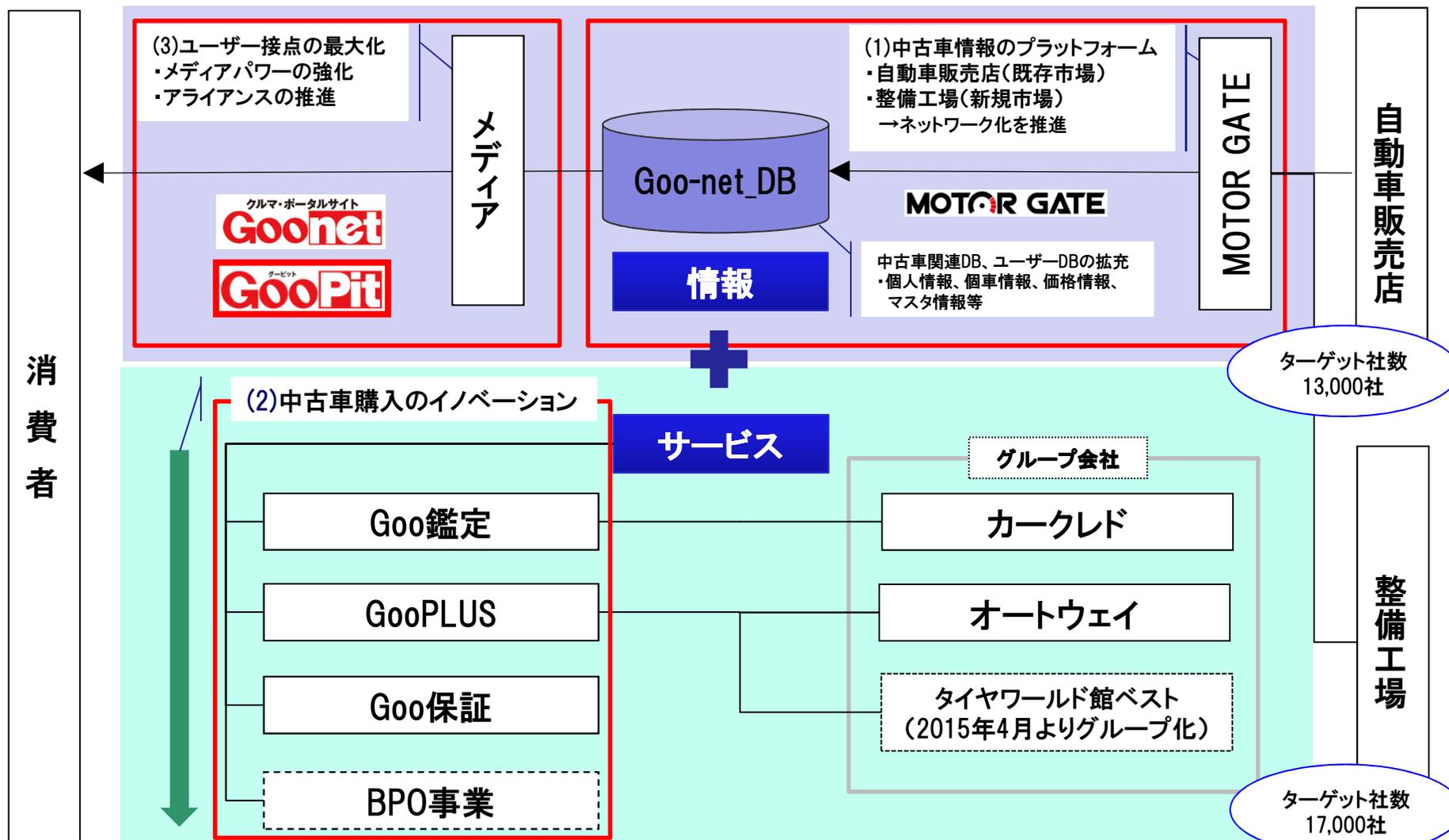
	2013年3月期 (実績)					2014年3月期 (実績)					2015年3月期 (実績)		
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q
売上高	9,599	9,600	9,420	9,667	38,287	13,808	13,915	13,796	13,240	54,761	12,200	11,763	12,577
売上原価	5,007	5,093	5,029	5,505	20,636	8,459	8,717	8,468	7,870	33,514	7,087	6,636	7,512
売上総利益	4,591	4,507	4,390	4,161	17,650	5,349	5,198	5,328	5,370	21,246	5,112	5,126	5,065
販売費及び一般管理費	3,006	3,124	3,171	4,138	13,440	4,022	4,068	4,163	4,256	16,510	3,855	3,791	3,877
営業利益	1,585	1,382	1,218	23	4,209	1,326	1,130	1,165	1,114	4,735	1,257	1,335	1,188
経常利益	1,602	1,450	1,263	54	4,371	1,398	1,213	1,266	1,131	5,009	1,305	1,378	1,370
四半期(当期)純利益	1,082	657	670	△ 120	2,290	761	551	712	601	2,627	973	796	773

* 売上原価は、返品調整引当金戻入額及び繰入額を加味した数値であります。

	2013年3月期 (実績)					2014年3月期 (実績)					2015年3月期 (実績)		
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q
売上高	9,599	9,600	9,420	9,667	38,287	13,808	13,915	13,796	13,240	54,761	12,200	11,763	12,577
自動車関連情報	8,538	8,256	8,214	8,677	33,687	12,723	12,680	12,618	12,115	50,138	11,145	10,659	11,396
情報登録・掲載料	4,934	5,082	5,324	5,072	20,413	5,038	5,192	5,261	5,251	20,744	5,025	5,305	5,281
情報提供料	3,604	3,174	2,890	3,605	13,273	7,685	7,488	7,356	6,864	29,394	6,119	5,354	6,114
生活関連情報	925	1,175	980	755	3,837	828	942	896	873	3,541	823	866	827
不動産	42	40	41	39	163	41	43	43	39	167	40	41	41
その他	91	127	183	195	597	215	248	237	211	913	191	195	312
営業利益	1,585	1,382	1,218	23	4,209	1,326	1,130	1,165	1,114	4,735	1,257	1,335	1,188
自動車関連情報	1,932	1,787	1,719	476	5,916	1,752	1,473	1,559	1,432	6,217	1,619	1,650	1,501
生活関連情報	52	58	32	△ 12	131	37	81	52	76	248	73	112	72
不動産	24	21	23	16	85	23	22	21	2	69	22	27	24
その他	△ 55	△ 73	△ 121	△ 73	△ 323	△ 58	△ 40	△ 45	2	△ 140	△ 39	△ 8	△ 32
管理部門	△ 369	△ 411	△ 435	△ 383	△ 1,599	△ 428	△ 407	△ 424	△ 398	△ 1,659	△ 419	△ 446	△ 376

TOPICS

自動車関連情報(四輪) 中長期事業ビジョン



中古車販売店の中古車在庫情報をユーザーに提供する広告モデル型のビジネスと、中古車の価値向上に寄与するサービスの融合により、小売成約台数シェアの過半数獲得を目指す

■ 整備業界における現状



ユーザーの抱える問題

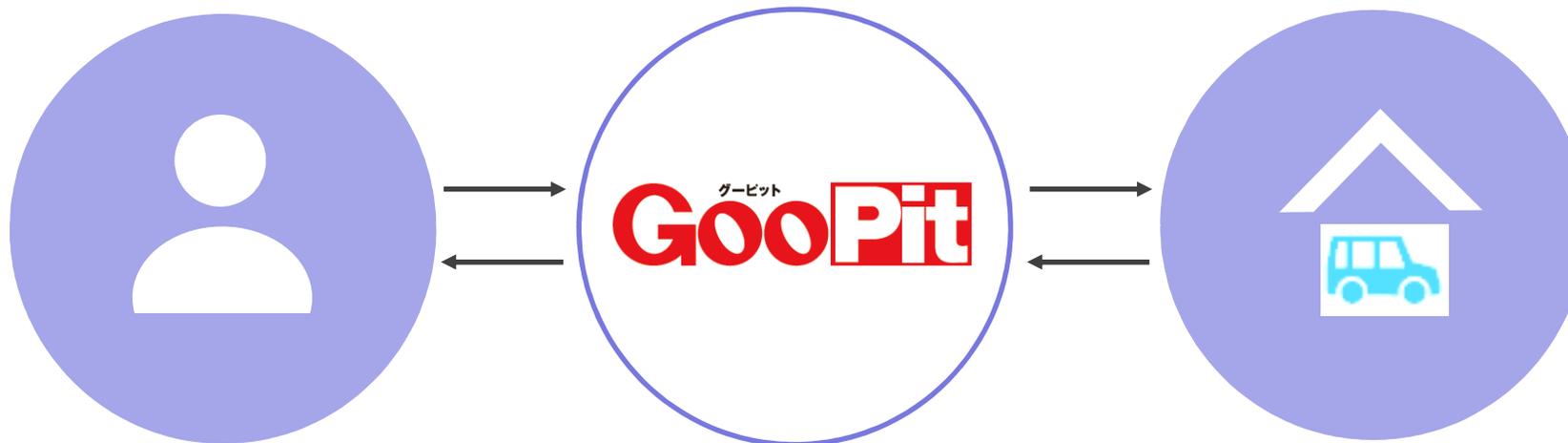
- 身近にカーメンテナンスを任せられる方が必要
(カーメンテナンスの浮遊層比率は20%超:当社調べ)
- ECサイトで購入したカー用品の取付ができない
- 整備工場がどこにあるかわからない
- 整備工場へ、飛び込みでは入りづらい
- 整備工場の特徴や価格がわからない
- 整備工場の作業実績や評判がわからない



クライアント(整備工場)の抱える問題

- 競争環境の変化
(カー用品店、ガソリンスタンド、自動車販売店による車検・整備・点検業務への参入)
- 下請け仕事の減少
(自動車販売店のアフターサービス内製化等)
- 新規顧客の開拓が難しい
(自社WEBサイトがない、サイト集客力がない)
- 既存顧客のグリップが難しい

■ 市場に提供する価値



ユーザーのメリット

- 近所の整備工場を調べることが可能
(整備先変更検討、転居、遠方からの中古車購入、
カー用品の取付等のユーザーシーンに対応)
- メールや無料通話による問合せが可能
- 加盟工場の特徴や価格、作業実績や店舗画像・動画を
確認することで安心して意思決定が可能
- 整備業界初の「整備工場レビュー」により、ユーザーの
意見を参考にして意思決定が可能

クライアント(整備工場)のメリット

- 自社の商圈に応じた新規顧客の獲得が可能
- 自社の強みに応じた新規顧客の獲得が可能
- 既存顧客の定着率向上が可能
(MOTOR GATEコール等のオプションサービス)

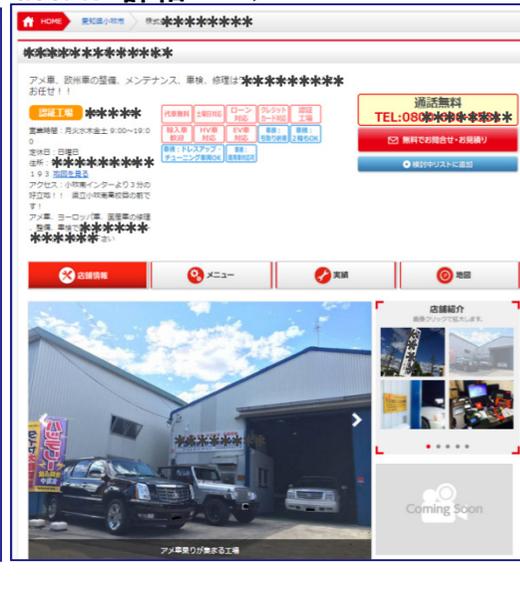
ユーザーのカーメンテナンスに関する不安要素を解消する

「GooPit」全国版により、整備業界へ本格参入(2015年1月30日サービスイン)

GooPit トップページ



GooPit 詳細ページ



■GooPitの優位性

- 1.メディアパワーと掲載社数
 - ・Goo-netで培った知見を整備業界に投入
 - ・約1,500店舗の工場が加盟(2015年1月30日現在)
- 2.情報の質
 - ・認証・指定整備工場を加盟資格とし、1級・2級整備士数も掲載
 - ・工場の特徴や価格を可能な限り明示
 - ・加盟工場の作業実績、店舗画像・動画等に加え、「整備工場レビュー」を採用
- 3.営業力
 - ・全国営業網による整備工場フォロー体制
 - ・業界に精通した営業担当社員による直販営業

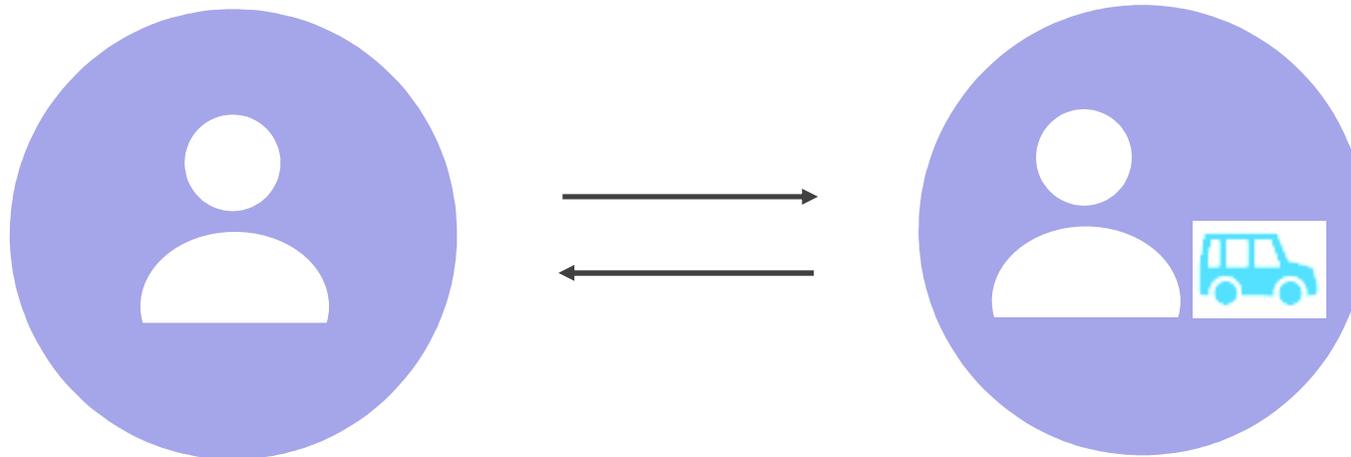
店舗メニュー・実績コンテンツ等



■ビジネスモデル

- 1.カーメンテナンス専門サイト
 - ・掲載料:月額固定課金モデル
- 2.その他オプションサービス(MOTOR GATEコール)
 - ・手数料:従量課金モデル

■ 中古車輸出業界における現状



海外バイヤー(買い手)の抱える問題

- 買いたい時に買えない(車両在庫の有無が不透明)
- 車両の信用度に不安がある
(車両状態、価格の妥当性がわからない)
- 売り手の信用度に不安がある
(取引代金の保全が不安)
- 商談の手続きが煩雑
(メール・電話・車両画像の送受信・価格交渉等)
- 輸入取引の手続きが煩雑
(通関・物流等)

クライアント(中古車輸出業者:売り手)の抱える問題

- 新規顧客の開拓が難しい
- 車両価格の妥当性の提示が難しい
(車両状態を伝える手段が乏しい)
- 品質クレームの対応負荷が高い
- 買い手の信用度に不安がある
(取引代金の保全が不安)
- 商談手続きが煩雑
(メール・電話・車両画像等の送受信・価格交渉等)
- 輸出取引の手続きが煩雑
(通関・物流・海上保険等)

■ 市場に提供する価値



海外バイヤー(買い手)のメリット

- 実在庫確認済の車両から検索が可能
- 車両状態情報を確認して購入が可能 (GooAUTO Quality Information)
- サイト上でスムーズな商談が可能 (個車スレッドによる問合せ・条件交渉・見積・見積確定・注文・エスクローが完結)
- エスクローサービスにより安全な取引が可能 (代金決済仲介、海上保険、物流等)

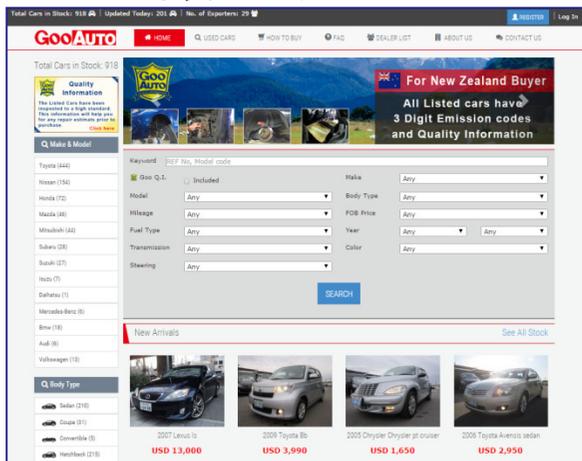
クライアント(中古車輸出業者:売り手)のメリット

- 新規顧客の獲得が可能
- 第三者による車両状態情報(GooAUTO Quality Information)の開示により、車両の信用度向上が可能
- サイト上でスムーズな商談が可能 (個車スレッドによる問合せ・条件交渉・見積・見積確定・注文・エスクローが完結)
- エスクローサービスにより安全な取引が可能 (代金決済仲介、海上保険、物流等)

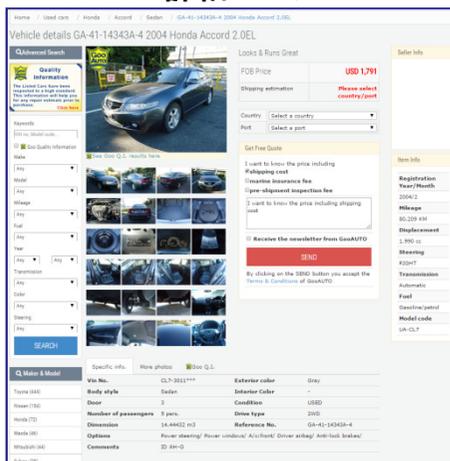
**決済機能を備えた輸出ポータルサイトの提供を通じて、
中古車輸出業者と海外バイヤーが安心して取引できる環境を構築する**

「GooAUTO」により、中古車輸出業者への経営支援サービスの提供を開始(2015年1月20日リリース)

GooAUTO トップページ



GooAUTO 詳細ページ



■GooAUTOの優位性

1. 実在庫チェック
実在庫を確認した車両のみをGooAUTOに掲載
2. GooAUTO Quality Information
車両状態情報の開示
3. エスクローサービス
金融機関による「取引代金の保全」に加えて「海上保険」と「必要書類の海外発送」をパッケージにした代金決済仲介サービスを用意することで、安心の取引を提供

GooAUTO Quality Information



■ビジネスモデル

- ・中古車輸出業者向け中古車輸出サイト
- ・掲載料: 月額固定課金 or 台あたり課金
- ・成約料: 台あたり課金(成約代金により変動)
- ・オフアール: 件あたり課金(成約時キャッシュバック有)
- ・鑑定料: 台あたり課金

補足資料

会社概要



社名
創業
設立
資本金
発行済株式総数
本社
支社
事業年度末
社員数
上場取引所
連結子会社

株式会社プロトコーポレーション
1977年10月1日
1979年6月1日
1,824,620,000円（2014年12月31日現在）
20,940,000株（2014年12月31日現在）
〒460-0006 名古屋市中区葵一丁目23番14号
〒113-0033 東京都文京区本郷二丁目22番2号
札幌、仙台、高崎、長野、浜松、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、熊本
（全国57拠点）
3月31日
連結：1,361名（2014年12月31日現在）
単体：665名（2014年12月31日現在）
東京証券取引所JASDAQスタンダード（2001年9月12日 上場）
1.株式会社プロトリオス
2.株式会社プロトデータセンター
3.株式会社プロトメディカルケア
4.株式会社バイクプロス
5.株式会社カークレド
6.株式会社キングスオート
7.株式会社オートウェイ
8.株式会社アイソリューションズ
9.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.
10.台湾寶路多股份有限公司
11.SMT Media Pte. Ltd.
12.PT. PROTO INDONESIA
（2015年1月30日現在）



月刊中古車通信 1977年創刊

1.株式会社プロトリオス	【2002年10月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）
2.株式会社プロトデータセンター	【2007年 4月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）
3.株式会社プロトメディカルケア	【2009年10月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）
4.株式会社バイクプロス	【2010年 4月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）
5.株式会社カークレド	【2012年 2月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）
6.株式会社キングスオート	【2012年 4月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）
7.株式会社オートウェイ	【2013年 4月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）
8.株式会社アイソリューションズ	【2014年10月子会社化】	（議決権所有割合：間接 100%）
9.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.	【2011年 9月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）
10.台湾寶路多股份有限公司	【2011年12月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）
11.SMT Media Pte. Ltd.	※清算手続き中【2011年 9月子会社化】	（議決権所有割合：間接 100%）
12.PT. PROTO INDONESIA	※清算手続き中【2012年12月設立】	（議決権所有割合：直接 75%、間接 25%）

■ Goo鑑定の拡販により、ユーザーがより安心・信頼してクルマ選びが出来る環境を整備する

Goo鑑定(鑑定証付き車両)



車両状態情報の開示

Goo鑑定の概要と図解(一例)

- フロントガラスの飛び石などによるキズをチェック
- ハンドルやダッシュボード、メーター類のチェック同時に異臭やシートの汚れ、破れなども確認
- エンジンルームのオイルや冷却水の漏れのチェックに加え、異音などを確認
- アイドリング時やアクセル時にエンジンにカラカラ音などの異音が無いか確認
- トランスミッションの変速ショックの確認
- 骨格の修復歴を確認修復済みの場合、その程度もチェック
- リアトランクの下をチェックし、修理跡や波うちが無いかを確認
- パワーウィンドウが正常動作するかを確認
- マフラーの状態を確認異常音の有無や排気をチェック
- ホイールのキズやタイヤの溝をチェック
- 外装のキズや塗装の状態を確認
- 外板に隠れた骨格部分を徹底確認
- ピラーに修復跡が無いかを確認

Goo鑑定3つのポイント

Goo鑑定のポイント 1

第三者の鑑定師がチェック!

第三者機関の日本自動車鑑定協会(JAAA)の鑑定師が中古車を鑑定。プロが一台一台チェックします。

公正!

Goo鑑定のポイント 2

外装・内装・機関・修復歴について評価

外装・内装・機関・修復歴の4項目について鑑定を行っています。見た目からでは判断がつかない箇所も入念にチェックしています。

納得!

Goo鑑定のポイント 3

鑑定証付き

鑑定した外装、内装、機関、修復歴のそれぞれについて評価を定めます。もちろん改ざんがあれば鑑定証は発行されません。

分かりやすい!



ステップ 1 Goo鑑定車一覧ページ



一覧ページで、Goo鑑定付きの車両には、Goo鑑定車の表示がつけられています。

ステップ 2 Goo鑑定車詳細ページ



詳細ページからはGoo鑑定証(サンプル)を見ることができます。

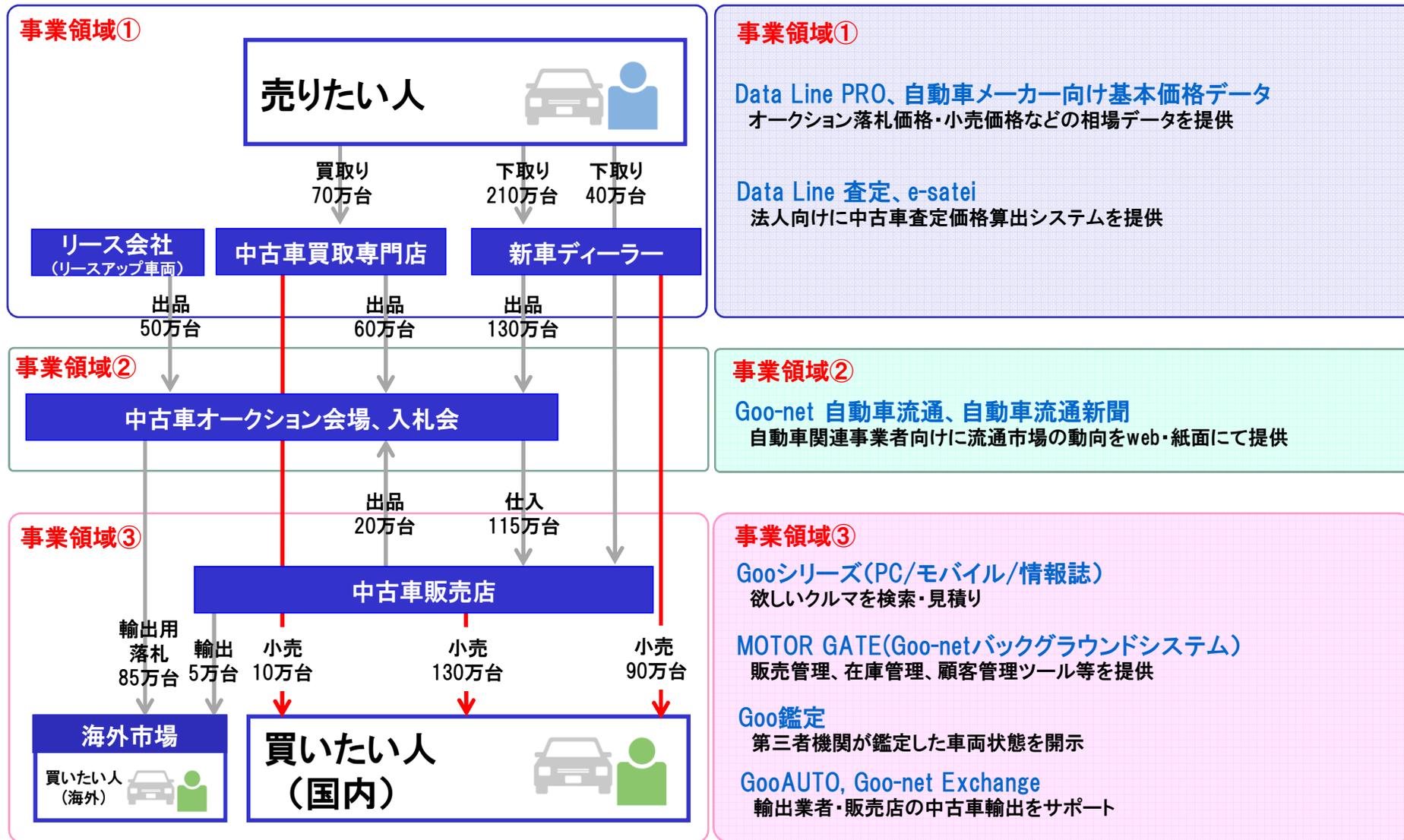
ステップ 3 Goo鑑定証ページ



中古車の流通フローと当社グループの主な商品・サービス

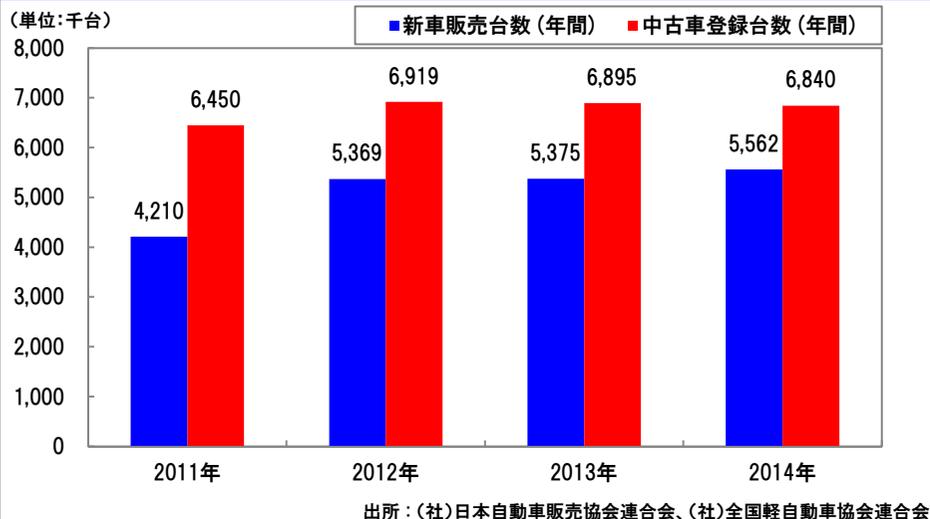


■ 中古車流通の上流から下流までを網羅し、ニーズに即した商品・サービスの開発・提供を推進



※(株)矢野経済研究所『中古車流通総覧 2012年版』を基に作成(2011年における中古車流通フロー)
 ※業販市場と中古車販売店の仕入販売台数は在庫替用の仕入販売台数を除く。 ※解体市場データ除く。

新車販売台数・中古車登録台数の推移(暦年ベース)



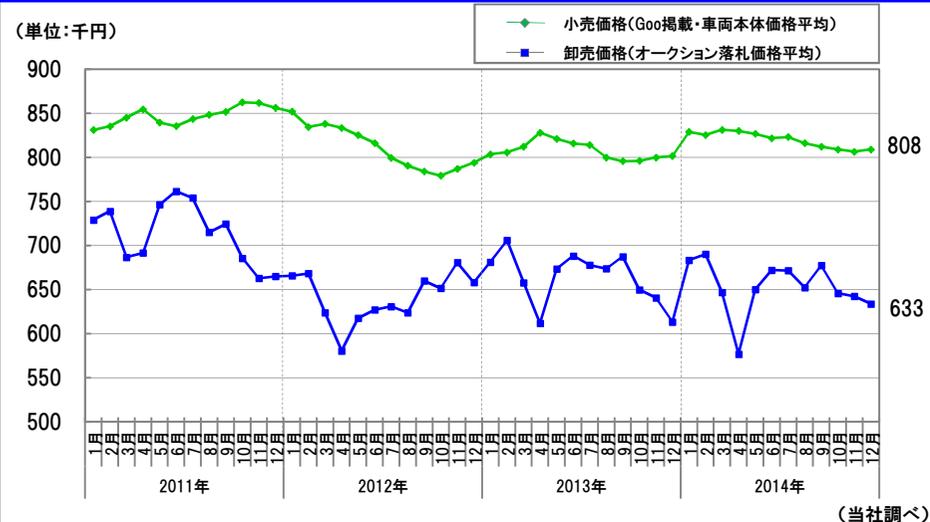
新車販売台数

2014年(1-12月累計)の新車販売台数は556万台となりました。
(前年同期対比103.5%)

中古車登録台数

2014年(1-12月累計)の中古車登録台数は684万台となりました。
(前年同期対比99.2%)

中古車小売・卸売平均価格の推移



中古車の小売・卸売平均価格の推移

エコカー補助金の終了後、小売平均価格は80万円前後で推移しております。
また、卸売平均価格は65万円前後で推移しております。

【参考:エコカー補助金】

1.第1期:エコカー補助金

2009年4月10日～2010年9月7日 : 予算枠5,837億円、スクラップインセンティブあり

2.第2期:エコカー補助金

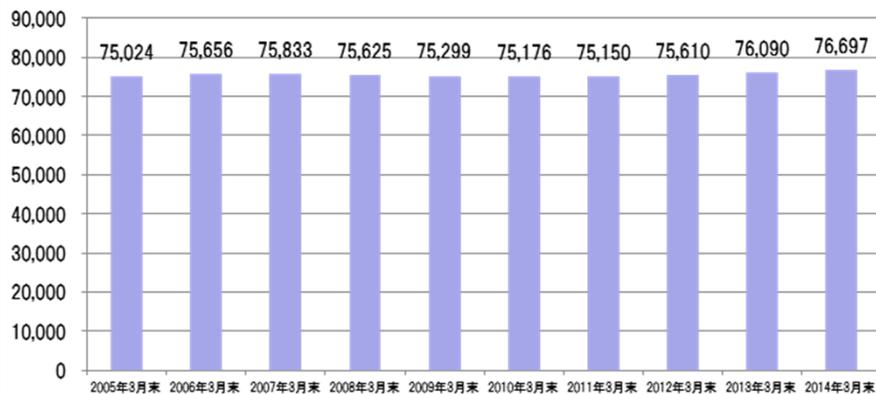
2011年12月20日～2012年9月21日: 予算枠3,000億円、スクラップインセンティブなし

自動車業界の市場動向(整備業界)



自動車保有台数の推移

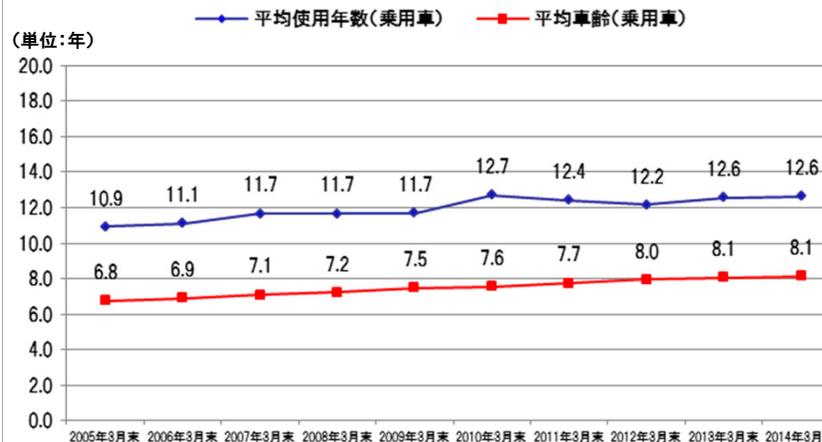
(単位:千台)



出所:自動車検査登録情報協会

平均使用年数と平均車齢の推移(乗用車)

(単位:年)



出所:自動車検査登録情報協会

自動車整備工場数(認証工場・指定工場)の推移

(単位:工場)



出所:国土交通省

自動車保有台数の推移

自動車保有台数は、7,600万台前後で推移しております。

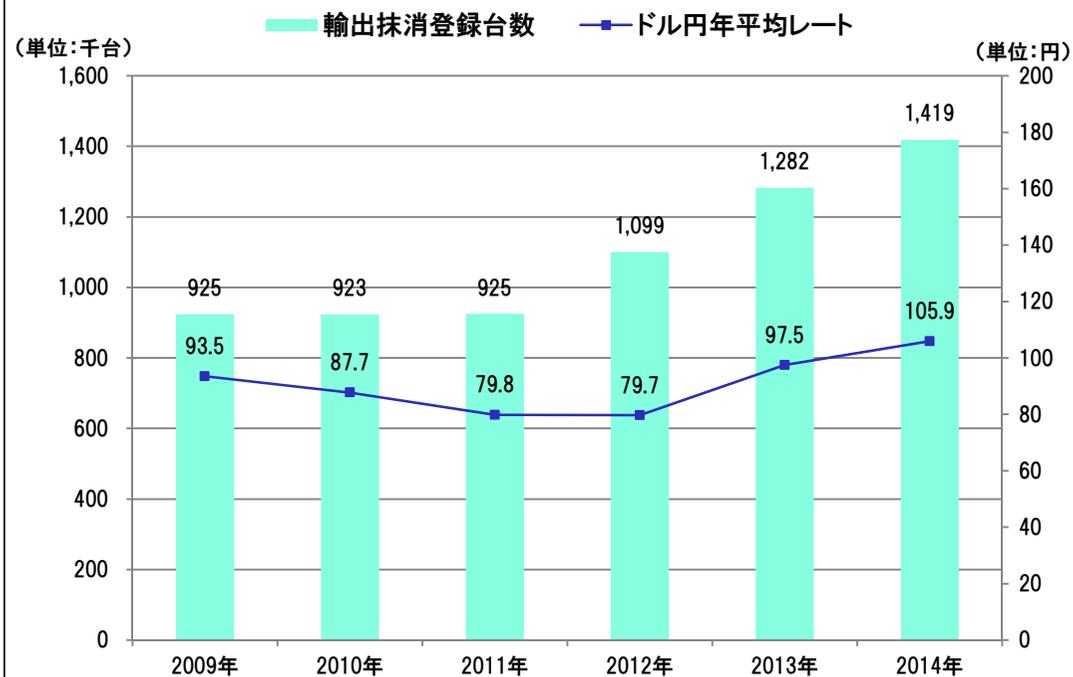
平均使用年数と平均車齢の推移

平均使用年数と平均車齢は、長期化する傾向にあります。

自動車整備工場数の推移

自動車整備工場数(認証工場・指定工場)は、微増傾向にあります。
(整備工場、ディーラー、カー用品店、ガソリンスタンド等)

中古車輸出業界の動向



出所: (社)日本自動車販売協会連合会

2013年国別中古車輸出台数

順位	国名	台数(千台)
1	ロシア	167
2	ミャンマー	134
3	U.A.E.	98
4	ニュージーランド	91
5	チリ	78
6	南アフリカ共和国	62
7	ケニア	61
8	キルギス	36
9	モンゴル	34
10	タンザニア	30

出所: 日本中古車輸出業協同組合

輸出抹消登録台数の推移

各国の輸入規制等による変動はあるものの、円安の追い風もあり、中古車の輸出抹消登録台数は増加傾向にあります。

国別中古車輸出台数の推移

国別中古車輸出台数では、上位5カ国で4割超の比率を占めております。

情報誌事業

情報登録・掲載料 (1)

課金体系: 1ページ当たりの広告掲載料

* 基本広告掲載料 (情報誌・PC・モバイルのセット販売)

情報提供料

情報誌の販売



例) Goo首都圏版

ページ単価: 約7.3万円 ∴ 月2回広告掲載した場合(1P×2回)の基本広告掲載料: 約14万円

※平均顧客単価/月: 約22万円(2014年3月期実績)



MOTOR GATEの主な機能

販売管理機能

- ・新規車両登録
- ・在庫車両管理
- ・Goo-net掲載管理
- ・問合せ管理

データ分析機能 ・書類作成機能

- ・各種アクセス解析
- ・POP作成
- ・見積書作成
- ・登録申請書類作成
- ・陸送手配書類作成

顧客管理機能

- ・顧客情報管理
- ・商談管理
- ・車検情報管理
- ・任意保険管理
- ・顧客車両管理等

MOTOR GATE : Goo&Goo-netのバックグラウンドシステム (中古車販売店マネジメントシステム)

IT事業①

情報登録・掲載料 (2)

Goo-netのインターネットオプション (MOTOR GATE)

※ 本資料に記載の金額は、全て百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 将来予測について

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があり得ることを、ご承知おきください。

■ お問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション
名古屋市中区葵一丁目23番14号
TEL 052-934-1519 FAX 052-934-1750
<http://www.proto-g.co.jp/>
4298ir@proto-g.co.jp
IR担当／経営企画室 鈴木、高林